

SAM STEEL CHECKER

鋼材判別器 サムスチールチェッカー



あなたがお使いになる鋼材の材質に
間違いはありませんか 異材混入を防止するために

新製品 鋼材判別器 サムスチールチェッカー D-200型

サムスチールチェッカーの 3大特長

- 非破壊で測定可能
- ポータブル
- 熟練不要（1回の測定時間は約5秒）

サムスチールチェッカーは こんなときに使います。

- 用途① ミルシートと鋼材現品との一致を確認したいとき。
- 用途② 切断した鋼板等が切断前と同一材であることを確認したいとき。
- 用途③ 材質の異なる鋼材を仕分けしたいとき。
- 用途④ 材質不明の鋼材の材質を確定したいとき。



株式会社 立花エレテック

測定に当たっては次の注意が必要です。

- 鋼材表面の黒皮、錆を除去すること。
- 測定箇所の水ぬれはふき取ること。
- 鋼材に交流電流が通電していないときに測定すること。
- 鋼材温度が5℃～35℃の時に測定すること。
- 同一箇所で3回以上測定した値の平均値を取ること。
- 測定箇所の鋼材厚さは2mm以上であること。
- 測定箇所として急熱急冷された部分を避けること。
- プローブの取り扱いには慎重に行ないセンサー針を折損することないように注意すること。

仕様 D-200型

表示方法	デジタル表示式
外形寸法	140×200×60 (mm) (本体寸法)
重量	約2.4kg (本体及びプローブ)
電源	バッテリー内蔵
仕様温度範囲	0℃～+40℃
測定鋼材温度	5℃～+35℃
保存温度範囲	-10℃～+50℃
湿度	80%RH以下
連続測定回数	5秒測定で300回
測定可能範囲	軟鋼からステンレスに至る各種鋼材及び合金
構成	本体、プローブ、バッテリー(本体内蔵)、ケーブル(プローブ用、AC電源用、DC電源用)、キャリングケース、専用充電器、標準サンプル(2種)、棒やすり、サンドペーパー

旧製品であるサムスチールチェッカー(M-100型、D-100型)は(財)日本建築センターの検査機器性能評価委員会から評価を受けており、本製品はそれに準拠した製品です。

評価番号:BCJ-59-検機1

お問合せ先

 株式会社 立花エレクトック

<http://www.tachibana.co.jp>

【ITギャラリー】当社の技術力・システム事例をご紹介します。

<http://www.tachibana.co.jp/it-gallery/index.asp>

〒550-8555 大阪市西区西本町1-13-25

技術企画開発部

TEL : 06-6539-2721 FAX : 06-6539-8824